

平成 29 年度

中小企業振興施策実施状況

商業課

事業名	商業振興コーディネート事業	平成29年度 目標達成度
事業概要	意欲ある商業者を想定しながら、新たな商業振興のあり方を試行し地域商業の活性化を図る。	A

H28 実績	4,500千円	H29 予算	2,900千円
提携・報 告書	Ⅱ① V③	Ⅱ②	V① V②

第4次実施計画体系		
部	局	取り組みのあらまし
4	22	2

指標①	事業効果があったとする対象店舗の割合	指標②	
指標の 説明・計算式		指標の 説明・計算式	
	H29	H30	H31
目標①	20%	25%	30%
	A	目標②	
実績①	67%	-	-

事業実績 (平成29年度)	平成29年度商業振興コーディネート事業については、ラグビーにちんだ弁当、菓子を取り扱う商業者を支援対象とした「東大阪ショウテンズ」について冊子改正やPR事業を行った。 ・「東大阪ショウテンズ」冊子改正(新規3店舗の追加) ・チラシ、ポスター等の製作による掲載店舗の広報。
------------------	---

改善すべき点	ラグビーにちんだ弁当、菓子を取り扱う商業者の支援については2か年の支援を行い、店舗のPRや「ラグビーのまち」の魅力をPRする取り組みとして一定の成果があった。 今後についても、市内商業者や商業者グループの抱える課題の解決に向けて支援を行う事が求められる。
--------	--

平成30年度に 向けた改善策	平成30年度については、国や大阪府の政策による訪日外国人観光客数の増加に加えてラグビーワールドカップ2019の開催による外国人観覧者に対する市内商業者による受け入れ体制の向上が課題であるため、訪日外国人(インバウンド)対策のための支援を行う。
-------------------	---

事業名	地域密着型支援事業	平成29年度 目標達成度
事業概要	商店街や小売市場等の小売商業団体が実施する魅力あふれる商店街づくりや、大学・地域などと連携して行う事業など、地域密着型の取り組みに対し補助金を交付することで、商業の活性化を図る。	C

H28 実績	14,524千円	H29 予算	12,047千円
提携・報 告書	Ⅱ①		

第4次実施計画体系		
部	局	取り組みのあらまし
-	-	-

指標①	にぎわいづくり事業実施団体数	指標②	
指標の 説明・計算式		指標の 説明・計算式	
	H29	H30	H31
目標①	25団体	21団体	21団体
	A	目標②	
実績①	19団体	-	-

事業実績 (平成29年度)	市内商店街などの団体が、夜市やちびっこ祭りを行う場合、にぎわいづくり事業補助金を交付する。 ・瓢箪山中央商店街振興組合など19団体へ交付(複数団体含む)
------------------	---

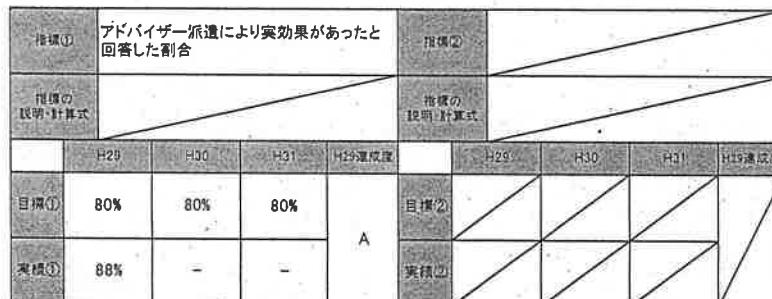
改善すべき点	実施団体の数を増やすとともに、商店街に継続的に足を運んでいただけるような工夫について検討してもらえるよう周知したい。
--------	--

平成30年度に 向けた改善策	夜市等を通じて商店街に足を運んでもらい、商店街の魅力を再発見してもらうことにより、商店街の来店者増に繋げたい。
-------------------	---

事業名	個店経営者育成セミナー事業			平成29年度 目標達成度
事業概要	商業者や開業予定者を対象に、魅力ある個店づくりに必要なコンセプト作りや経営・財務・人材育成・販路開拓等の知識を身につける講座を開講するとともに、専門家(アドバイザー)を店舗に派遣する。			A

H28 実績	937千円	H29 目標	978千円	補助・報 告書 館第	V②	V③		
-----------	-------	-----------	-------	------------------	----	----	--	--

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	2



平成28年度に引き続き中小企業診断士を講師に招いて全10回の講義を実施し、8件のアドバイザー派遣を行った。派遣先の業種は以下のとおり。
米屋(1店舗)×2回、飲食店(2店舗)×各1回、呉服店(1店舗)×1回、調味料ネットショップ販売(1店舗)×1回、美容室(1店舗)×1回、玩具店(1店舗)×1回。
全体的にペテランの商業者を中心に行われた。昨今の客離れや新規顧客獲得、人員不足などの課題に対し、現地に赴き各店舗の現状に応じたアドバイスを行い、講義だけでは挿入できない部分のフォローがなされたと満足度の高い結果となった。

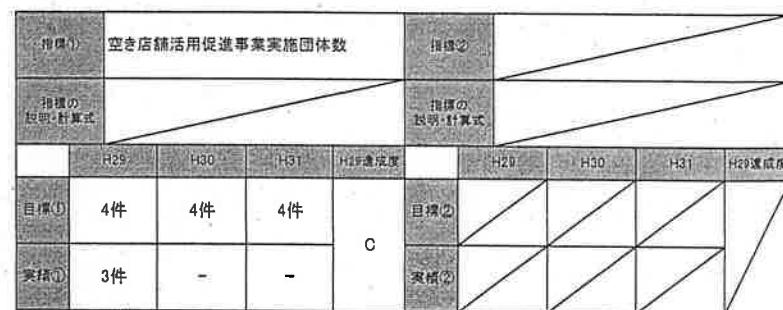
改善実績(平成29年度)
改善すべき点
新規・若手開業予定者からのアドバイザー派遣の希望がなかったため、できる限り個々の状況を把握し、それそれに適した情報を提供しフォローしていく必要がある。

平成30年度に向けた改善策
特に新規開業予定者にアドバイザー派遣を受けていただくため、セミナーの中で新規開業者の課題をしっかりと掘り起こし、開業前に個々の必要な知識の獲得のためにアドバイザー派遣を受けていただくよう指導する。

事業名	空き店舗活用促進事業			平成29年度 目標達成度
事業概要	商店街の空き店舗を活用して商業・サービス業の開業支援を図るため、開業の際の一部経費の補助やアドバイザーの派遣を行う。			C

H28 実績	3,921千円	H29 目標	1,232千円	補助・報 告書 館第	V②	V③		
-----------	---------	-----------	---------	------------------	----	----	--	--

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	1



空き店舗活用促進事業として商店街へ補助金を交付するとともに中小企業診断士によるアドバイザー派遣も実施した。
・商店街の魅力を高める店舗：布施駅北部四番街商店街振興組合(複数・飲食店)
・商店街の魅力を高める店舗：布施駅北部四番街商店街振興組合(複数・サービス業)
・商店街の魅力を高める店舗：和泉山中央商店街振興組合(複数・物販)

改善すべき点
商店街の不足業種の解消や魅力のある店舗の開業による商店街のにぎわいを生み出すため、新規開業者や開業予定者への制度周知や申請の手続きの簡略化が求められる。

平成30年度に向けた改善策
平成30年度は同様助金の補助対象者の条件や申請の手続き等を見直すとともに、より多くの創業者・開業予定者の支援となるよう活用を図る。